

# 発明の日記念講演会 開催

## 「デザインのチカラとその活かし方」

### ～デザインマネジメントと強いブランドの構築～

4月18日の「発明の日」を記念して、全国各地で科学技術や発明に関するさまざまな行事が開催されましたが、大阪発明協会では、例年「発明の日」を記念する記念講演会を開催しております。今年度も昨年度に引き続き知的財産に関する知識の啓発を資することに努め、関西を中心とした企業や個人の知財活動に貢献している任意団体である「関西知的財産協議会(NIPA)」との共催



により、元特許庁意匠課長であり、現在は大阪工業大学大学院知的財産研究科 特任教授として、学生の教育のみならず多方面での講演活動等で人気を博している、山田 繁和氏を講師にお迎えいたしました。

特許庁や経済産業局が特に現在力を入れているキーワード「デザイン経営」をテーマとした講演ということで、本講演会には、NIPAからの参加者も合わせて約70名の参加者を集め、会場にはほぼ満員の盛況となりました。前半

は、デザイン関係の模倣品の実態を統計的に俯瞰するとともに模倣品の侵害を防ぐことができた成功例と防げなかった失敗例の双方の事例が紹介されました。続いて、広義のデザインと狭義のデザインを理解した上で、知財ミックスを駆使するなど積極的なデザインマネジメントを仕掛けているさまざまな企業の事例を紹介、そしてデザイン戦略のためのさまざまな場面におけるブランド構築も含めた意匠権の活用方法が解説されました。

豊富な事例によるわかりやすい説明に定評がある山田教授の講演は、前評判どおり受講者からも大好評で、非常に有意義であったと思われます。

本講演を皮切りに当協会では有料・無料を問わず、今年度もこのような知財意識の啓発や知財に関する情報提供のためのセミナーを多数実施していく予定ですので、セミナー等の情報をホームページ等にてチェックしていただけますと幸いです。

